

3.24 老朽原発うごかすな！高浜全国集会開催

全国、福井嶺南・京都と滋賀北部、労組も広く発言

3月24日、「老朽原発動かすな！高浜全国集会」（主催:原発うごかすな！実行委員会@関西・福井）が福井県高浜町文化会館で開催された。集会に先立ち、高浜原発現地で抗議行動が行われた。正面ゲート前にもう一つの新しいトンネル道が完成していたが、避難用とのこと。老朽1、2号機が再稼働準備のため、足場を組んでものもしい工事中。包帯ぐるぐる巻きの瀕死の原発のうめきが聞こえてきそう。その先に稼働中の3・4号機が見える。雪の予報もはねのけ、220人ほどが参集。午前11時半、若狭の原発を考える会の木原壯林さんの「老朽原発動かすな、の断固とした決意を示したい。京都駅まで60キロほど。大事故が起きれば

関西圏500万人以上が永遠に故郷を無くす。第2のフクシマを作ってはならない。」という挨拶の後、ゲート前までコールしながらデモ、関電に申入れ書を提出。



<被曝労働と闘った釜ヶ崎の仲間の遺影（向かって右）掲げデモ行進>

<高浜町内をねり歩く>



<老朽原発は二重に危険！>



<老朽原発裁判を闘う名古屋の仲間たち・弁護団>

午後2時からの全国集会は高浜町文化会館で開催。反原発議員市民連盟関西ブロックの二木洋子さんと若狭の原発を考える会の木戸恵子さんの司会でスタート。会場で配布のプログラムは数分刻みの予定がざっしり。

木原さんの挨拶の後、中嶋哲演さん。東海第 2 と柏崎刈羽からはメッセージが読み上げられた。再稼働阻止ネットとたんぽぽ舎ボランティアとして壇上に上がった青山さんは、首都圏の東海第 2 老朽原発動かすな！のデモや原電ヒューマンチェーン抗議行動など伝え、311 に見た浜通りの事、そして地元高浜で 4 5 年ほど前に反原発の詩を果敢に書き若くしてガンで亡くなった女性詩人・大西ひとみさんの詩を朗読。

続いて脱原発アクション in 香川の溝渕さんから、伊方原発の現状や裁判のことなど報告された。名古屋の老朽原発廃炉訴訟の当事者報告では弁護士も含め 9 人が壇上に上がり、事故が起きれば風向きで名古屋まで放射能は到達する、ただでさえ危ない原発に老朽というリスクが重なる再稼働に、自分たちも当事者として、真剣に向き合わなくてはとの思いで、裁判を闘っていると話された。

地元の部では綾部市のメッセージの他、9 市町からの方々が登壇、報告された。宮津、舞鶴、高浜、おおい、小浜、若狭、美浜、敦賀、高島など。宮津は初めてマイクロバスで参加。是永宙・滋賀県高島市議は昨年未のあいば野自衛隊実弾事故に続いた登場。福井・滋賀県、京都府にまたがるこれら広範囲の地域の人々の繋がりは関電と安倍政権に脅威となる。論より証拠に、若狭町の石地さんからは、関電が「なぜ 40 年越えの原発を動かすのか」というニュースを作成し全戸配布したことが報告された。

地元高浜の東山さんは、「老朽 1・2 号機はやめてほしい」という町民の声を紹介し、クレーン事故などあり関電は再稼働を延ばさざるをえないようだと言った。敦賀市の方の「もんじゅ・つるが・ふげん」の話の中で、「廃炉が決まっても放射能の危険と向き合っていかなければならない現状」との発言。



< 痛々しい姿の老朽原発：正面中央。すでに今秋の再稼働は大幅延期発表。もう廃炉しかない！ >

最後は 5 つの労働組合から。ユニオンネットワーク京都の服部さんから、関西生コンへの弾圧、チラシを撒いて、今も 9 人が 200 日以上も拘留、「明日はわが身」と思って、闘っている話。再稼働に巨額の費用をかけているが、そのなかには被ばくの費用は無い、働く人たちの安全が担保にされていないのが原発の現場だ、という釜ヶ崎日雇労組・三浦副委員長の報告などがあつた。若狭の原発を考える会の橋田秀美さんから集会決議提案採択、シュプレヒコールの後、「関電は使用済み核燃料を増やすな！」「原発でこどもたちの未来を奪うな！」と、350 人の参加者は高浜町内のデモに出発した。会場カンパは 17 万円を超えて寄せられた。

5.19 関電本店包囲全国集会に大結集しよう！
5 月 19 日（日）午後 1 時 大阪中之島へ、御堂筋デモも貫徹